

県庁舎で営巣しているハヤブサのヒナ誕生について

県庁舎で営巣している県絶滅危惧種のハヤブサから、平成 26 年、平成 27 年に引き続き、ヒナの誕生が確認されました。

1 ふ化について

- ・平成 28 年 4 月 20 日（水）、営巣中のハヤブサから 5 羽のヒナが誕生したことを職員が確認しました。
- ・今年も、3 月 16 日（水）に 5 個の産卵を確認していましたが、すべてふ化にいたりませんでした。
- ・鳥類の専門家によれば、5 個の産卵ならびに 5 羽のヒナ誕生は、全国的にも珍しいとのこと。※通常は 3～4 個の産卵。

2 ハヤブサについて

- ・ハヤブサ科
- ・希少種カテゴリー：県レッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類、国レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類。国内希少野生動植物種。
- ・生態：海岸部の生態系の頂点に位置する鳥。県内では能登半島と加賀地方の海岸で繁殖。

3 県庁舎でのハヤブサの営巣

- ・ハヤブサは、高所から獲物（鳥など）を探ることができる海岸近くの断崖に営巣する習性があり、県庁舎の高層階のベランダは、ハヤブサの営巣場所に適していたと考えられます。
- ・県庁舎では平成 17 年から産卵が確認されていたもので、平成 26 年に初めて繁殖に成功し、3 羽のヒナが生まれ、無事に巣立ちしました。
- ・平成 27 年にも 4 羽のヒナが誕生し、巣立ちしています。
- ・県では、繁殖成功に向け、専門家の指導を受け、ベランダに砂を敷き、また窓のブラインドを下ろし刺激しないようにするなど留意をしてきました。
- ・今回のヒナ誕生については、自然環境課ホームページにて紹介しています。
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/index.html>

4 取材について

- ・ヒナの保護の観点からマスコミの現地取材は、ご遠慮ください。
- ・写真及び動画データを提供します。必要な社はお尋ねください。

請求先：環境部自然環境課自然共生グループ 外線 076-225-1476/内線 4264



親鳥とヒナ（平成28年4月20日撮影）



誕生したヒナ5羽（4月20日撮影）